3-8. 平田・柳水地区（平田地区編）

１．地区の概要

（１）位置・人口等

■位置

平田地区は益城町の北部中央に位置し、南北にかけて細長い地形となっています。北部は熊本市東区、東側は寺中地区に、西側は寺迫地区、南部は福原地区・下陳地区にそれぞれ接しています。

南部には木山川が流れ、平田上、平田中、平田下、平田西、平田境に加え、北部に独立して位置する黒石崎と 6 つの住居集落が形成されている以外は、全体的に農業地帯が大部分を占めていますが、443 号線に接する最北部は複数の物流サービス企業が立地しています。

（注 1）赤線は平田行政地区の境界を指す。

（注 2）青円は行政区で、各集落を指す。

図　平田地区

■人口等

平成 29 年 3 月末日の住民基本台帳によると、平田地区の人口は 585 人、世帯数は 230 世帯となっています。

平成 26 年から 29 年までの 4 年間の人口・世帯数の推移をみると、震災前から世帯数はほぼ変化していないものの、人口は緩やかに減少しています。

震災後の 1 年間では前年比で 3%減少しています。

表１　平田地区の人口・世帯数の推移（平成 26 年～29 年）

	平成 26 年		平成 27 年		平成 28 年		平成 29 年	
	世帯数	人口	世帯数	人口	世帯数	人口	世帯数	人口
黒石崎	28	63	26	59	27	60	29	58
平田上	42	126	43	125	45	128	42	119
平田中	57	168	57	163	57	154	60	155
平田下	59	167	60	165	62	168	59	166
平田西	19	46	19	48	18	48	17	44
平田堺	25	47	25	47	25	46	23	43
合　計	230	617	230	607	234	604	230	585

表２　平田地区の人口・世帯数の前年比（平成 26 年～29 年）

前年比	平成 26 年		平成 27 年		平成 28 年		平成 29 年	
	世帯数	人口	世帯数	人口	世帯数	人口	世帯数	人口
黒石崎	―	―	0.93	0.94	1.04	1.02	1.07	0.97
平田上	―	―	1.02	0.99	1.05	1.02	0.93	0.93
平田中	―	―	1.00	0.97	1.00	0.94	1.05	1.01
平田下	―	―	1.02	0.99	1.03	1.02	0.95	0.99
平田西	―	―	1.00	1.04	0.95	1.00	0.94	0.92
平田堺	―	―	1.00	1.00	1.00	0.98	0.92	0.93
合　計	―	―	1.00	0.98	1.02	1.00	0.98	0.97

表３　平田地区の人口・世帯数の平成 26 年度比（平成 26 年～29 年）

平成 26 年度を 1 とする	平成 26 年		平成 27 年		平成 28 年		平成 29 年	
	世帯数	人口	世帯数	人口	世帯数	人口	世帯数	人口
黒石崎	1.00	1.00	0.93	0.94	0.96	0.95	1.04	0.92
平田上	1.00	1.00	1.02	0.99	1.07	1.02	1.00	0.94
平田中	1.00	1.00	1.00	0.97	1.00	0.92	1.05	0.92
平田下	1.00	1.00	1.02	0.99	1.05	1.01	1.00	0.99
平田西	1.00	1.00	1.00	1.04	0.95	1.04	0.89	0.96
平田堺	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	0.98	0.92	0.91
合　計	1.00	1.00	1.00	0.98	1.02	0.98	1.00	0.95

資料：各年 3 月住民基本台帳人口

（２）被害状況

熊本地震後の家屋の被害認定状況をみると、住家の 41%が「全壊又は大規模半壊」となっており、福田校区内の福原地区と比較しても大きな被害を受けた地区であることがわかります。

表　福田校区内大字別被災状況（住家）

	住家					
	全壊	大規模半壊	半壊	一部損壊	無被害	計
大字福原	95	34	104	271	7	511
大字平田	92	17	41	105	7	262

	住家					
	全壊	大規模半壊	半壊	一部損壊	無被害	計
大字福原	19%	7%	20%	53%	1%	100%
大字平田	35%	6%	16%	40%	3%	100%

（３）地区の課題

・震災前から人口は減少傾向、震災で人口３％減少

・公共交通がなく不便

・地区内道路は幅員４ｍ未満の狭あい道路が多い

２．地区の基本方針

平田地区は、豊かな自然に恵まれる田園環境の中、古くから集落が形成されてきました。しかしながら、震災前から徐々に人口が減少してきました。特に、多くの若者が仕事や利便性を求めて、地区外に移り住んでいます。

しかしながら猿田彦碑や妙見社など伝統文化が今も残っており、祭りを中心として良好なコミュニティが形成されています。

こうした現状から、被災者や若者が安心して戻ってこられる環境を整えるとともに、平田の資源である農業を軸に地域の活性化を図り、若者から高齢者まで誰もが元気で暮らせる郷づくりを目指します。

【郷づくりの目標・キャッチフレーズ】

帰りたくなるちょうどいい田舎あります!!

～祭、自然が時代を超えて絆をつくる、農業の郷～

３．避難路・避難地の計画

＜避難路＞

避難路については、比較的多くの住宅が立地している狭あい道路を、地区内の主要な道路に接続する避難路として機能するよう整備します。

＜避難地＞

避難地については、地区のほぼ中央部に位置する平田中地区の、地区内の主要道路に面しており住民が避難しやすい場所に災害時の一時避難場所を整備します。

表　避難路・避難地の整備の概要

路線名等	整備内容		整備の内訳			概算事業費
			延長	幅員	面積	
		拡幅等	（m）	（m）	（㎡）	（千円）
町有道路	地区公共施設（避難路）	拡幅	85	4		14,200
町道堤黒石崎線	地区公共施設（避難路）	拡幅	215	4.5		41,900
町有道路	地区公共施設（避難路）	拡幅	130	4		21,800
町道川内田平田線	地区公共施設（避難路）	拡幅	130	6		32,300
一時避難場所	地区公共施設（避難地）	新設			2,422	152,300

平田・柳水地区【4～6m】

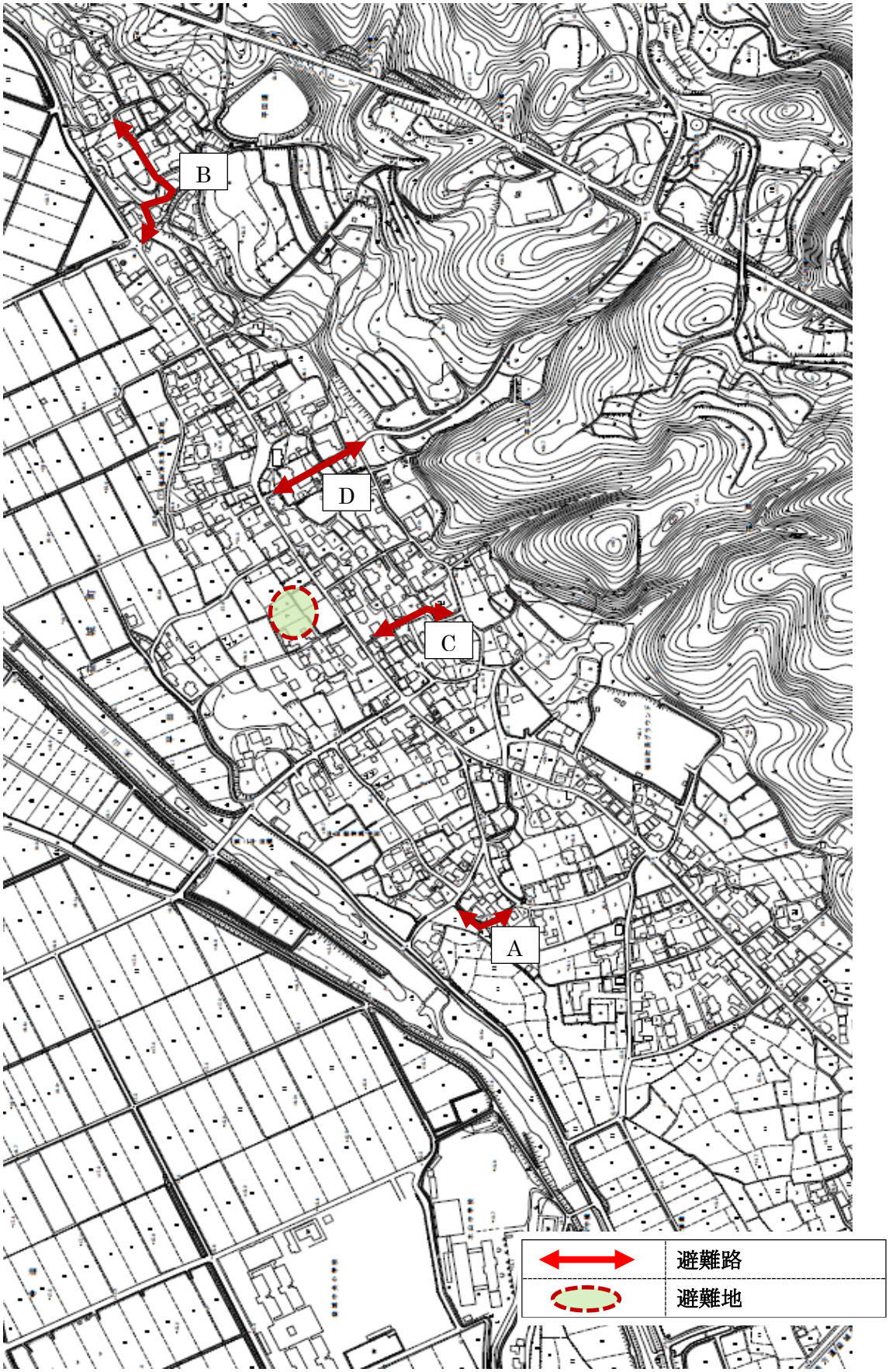

図　避難路・避難地計画図